

鹿児島地域振興局だより

夏号

令和4年8月

発行・編集

鹿児島地域振興局総務企画課

〒892-8520

鹿児島市小川町3番56号

TEL 099-805-7206

各部の動き

■総務企画部	1
・行政懇話会を開催	
・イベントのお知らせ	
■保健福祉環境部	2
・「障害者が安心して暮らせる鹿児島づくり推進事業」地域意見交換会開催	
■農林水産部	3
・SDGs に向けた持続的なお茶づくりの取組開始！	
・新規就農者の門出をお祝い	
・ドローンで省力化防除！基腐病を完全予防	
・女性農業経営士あぐりロマンひおき，自分史を作成開始！	
・「第 34 回豊かな海づくり放流祭」開催	
・県内初！K－G A P 認証を取得！	
・東昌小学校の八十八夜茶摘み体験	
・「トカラ産物販売推進戦略会議」開催	
・若手農業担い手女性組織が「販売促進セミナー」開催	
■建設部	8
・桜島港（袴腰地区）浮棧橋の試験的運用開始！	

特 集

■鹿児島のまつり	
・三島村のメンドン	
・十島村のボゼ	
・日置市の伊作太鼓踊り	

令和4年度第1回鹿児島地域行政懇話会を開催しました

鹿児島地域振興局では、その所管区域（鹿児島市、日置市、いちき串木野市、三島村、十島村）において、地域の特性や住民ニーズに即した総合的な行政を推進するため、地域行政懇話会を開催しています。

地域行政懇話会では、市村との緊密な連携による効率的かつ効果的な業務執行のための調整・情報交換等を行っています。

令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、5市村が一堂に会しての開催はできませんでしたが、今年度は6月3日（金）、鹿児島地域振興局において、令和4年度第1回鹿児島地域行政懇話会を開催しました。5市村と地域の活性化や新型コロナウイルス感染症の対応等について意見交換を行いました。



🎵🎵🎵🎵🎵🎵 イベントのお知らせ 🎵🎵🎵🎵🎵🎵

仙巖園で三島村・十島村フェアを開催します

令和4年9月17日（土）から25日（日）にかけて、仙巖園の土産処「薩摩のれん」において、三島村の焼酎や十島村の特産品を販売するフェアを開催します。

このフェアから初めて販売する新商品もある予定です。この機会に是非お越しいただき、三島村・十島村の魅力を感じてみてください。

鹿児島地域の体験型観光施設をめぐる「～近く、知る、巡る～かごしま体験旅スタンプラリー」を実施します

令和4年10月1日（土）から令和5年1月31日（火）にかけて、鹿児島地域（鹿児島市、日置市、いちき串木野市、三島村、十島村）の体験型観光施設を巡る「～近く、知る、巡る～かごしま体験旅スタンプラリー」を実施します。また、参加者には抽選でスタンプ数に応じて豪華賞品が当たりますので、是非、御参加ください。

鹿児島地域の祭りや特産物等をPRする「観光物産PR展」を開催します

令和4年10月21日（金）から令和4年10月22日（土）に、鹿児島市のアミュ広場で「観光物産PR展」を開催します。

妙円寺詣りをはじめ、鹿児島地域（鹿児島市、日置市、いちき串木野市、三島村、十島村）の祭りや観光のPR、特産品等の販売が行われます。

是非お越しいただき、鹿児島三大行事である妙円寺詣りや、南北300kmの様々な魅力を持った鹿児島地域を体験してください。



「障害者が安心して暮らせる鹿児島づくり推進事業」地域意見交換会を開催しました

障害者の方々が安心して暮らせる鹿児島づくりを進めるため、5月31日（火）に三島村役場及び十島村役場において、テレビ会議システムを用いて障害者の家族や支援者との地域意見交換会を開催しました。

地域意見交換会は地域振興局長の進行で行われ、参加者からは、「離島における療育や進路、就労に関する相談等の機会が少ないことから、相談支援体制の充実に取り組んで欲しい。」など、多くの御意見・御要望がありました。

伺った御意見・御要望などについては、関係部局で共有し、障害をお持ちの方々の今後の支援につなげてまいります。



当日の様子（三島村）



当日の様子（十島村）

～特集～
鹿児島のまつり

三島村のメンドン

メンドンは竹かごを逆さにし、小さく割った大名竹を使い、大きな耳、鼻、目、眉、ケン（一本角）の形を作りつけ、それに紙を貼り重ね、耳と眉は渦巻模様、その他は格子柄に文様をつけます。昔は、船底の防腐剤を塗って真っ黒にし、その上にレンガを砕いて作った絵の具で、色を付けていました。

メンドンを作るのは、14歳の男児の家で、かぶるのは踊りに出ない二才（にせ・25歳～34歳の青年）です。

手に持っている神木（スッペン木）で観客を叩き、悪霊を祓います。神社を出たり入ったりしながら、せわしく駆けまわり、翌日の夜中まで、島内各所に出没します。

翌日には、神社での奉納踊りののち、「叩き出し」といって、太鼓踊を踊りながら島内を一巡します。海岸に到着すると、揃って海に向かって悪いものを追い払います。

メンドンは「天下御免」で、メンドンに逆らうことは許されず、また、中に誰が入っているかを詮索することもできません。



農林水産部

SDGs に向けた持続的なお茶づくりの取組開始！

ASIAGAP HIOKI 茶部会では、SDGs に向けた取組の一環として、日置市の家庭から出る生ゴミを堆肥化した「よかんど」の活用を開始しています。冬期に同堆肥を散布した茶園で、4月25日（月）に玉露用の、4月28日（木）に抹茶用の茶を収穫・加工しました。今後、これらの茶を市内物産館や菓子店等で「オール 日置茶」として販売する予定です。



「オール日置茶」のパッケージで販売



「よかんど」を散布した茶園の摘採風景

農政普及課は、SDGs に向けた持続的な茶生産の取組として、今後とも ASIAGAP HIOKI 茶部会の活動を支援していきます。

新規就農者の門出をお祝いしました

6月8日（火）、日置庁舎で「日置地区新規就農者励ましの会」を開催しました。管内で昨年度就農した30～50代の7人のうち6人と関係者30名が参加しました。新規就農者は「経営規模を拡大したい」「加工部門を立ち上げたい」など抱負を語りました。指導農業士会や女性農業者組織あぐりロマンひおき、農業青年クラブの代表者等から「相談できる仲間をつくって」等多くの助言をいただきました。



新規就農励ましの会



新規就農励ましの会集合写真

今後も指導農業士や女性農業経営士など関係機関・団体が連携して支援に取り組んでいきます。

ドローンで省力化防除！基腐病を完全予防

県内ではサツマイモの茎葉や塊根に枯死・腐敗を引き起こす「基腐病」の被害が拡大しており、蔓延防止が緊急の課題です。日置地区では関係機関・団体がプロジェクトチーム作業部会を立ち上げ、病菌を「持ち込まない」「増やさない」「残さない」などの対策を推進しています。

6月2日（水）に展示ほ場として、ドローンによる省力化防除を日置市吹上町小野で実演しました。



ドローンによる防除作業



説明を熱心に聞く参加者

ドローンにより1時間22分で3haの殺菌剤散布を行うことができ、大規模農家から省力的で効果的な散布技術として期待されています。

女性農業経営士あぐりロマンひおき、自分史を作成開始！

7月12日（月）、女性農業者組織あぐりロマンひおきは、自分史づくり研修会を開催しました。目的は①経営経過を確認し、今後の経営発展を考える ②自分自身で自分の経営等への貢献を確認し自信を持つことです。研修会では、始良市の女性農業経営士市藺氏からの体験談で、経営方針をしっかりと検討することや、楽しみと仕事のメリハリを大事にする意義などを紹介してもらいました。



あぐりロマンひおき研修会

その後、各自が自身の経営で印象に残っていることを書き出し、紹介し合いました。今回始めた自分史は令和5年度の完成を目指します。

「第 34 回豊かな海づくり放流祭」が開催されました

昭和 62 年 7 月に枕崎漁港で開催された「第 7 回全国豊かな海づくり大会」を契機として、本県の水産資源の保護培養や漁場の環境保全の意識の高揚を目的として、毎年、県内各地を持ち回りで開催されている「豊かな海づくり放流祭」が、7 月 15 日（金）に鹿児島市の生見海水浴場で行われました。



放流祭の様子①



放流祭の様子②

地元の鹿児島市立生見小学校の児童と鹿児島地域振興局長はじめ多くの来賓が、マダイ、カサゴ 1,000 尾ずつを放流しました。

今後とも、水産資源保護培養等の意識高揚に取り組んでまいります。

県内初！パセリ・ラディッシュ・みつばの K-GAP 認証を取得！

吉野の軟弱野菜生産部会“優う良”は、県内初となるパセリ、ラディッシュ、みつばの K-GAP（かごしまの農林水産物認証制度）認証を取得しました。

部会員は 20 名で、うち半数が 50 歳以下と若手の動きも活発になりつつあり、今回の認証取得は、今後を見据えた若手部会員が、部会全体に取得を呼びかけた成果です。

“優う良”はすでに、チンゲンサイ、ホウレンソウの認証を取得しており、今後はコマツナ等 3 品目について認証取得を目指します。



ハウスの概要



栽培状況

東昌小学校の八十八夜茶摘み体験

5月2日（月）、鹿児島市立東昌小学校の3～4年生14名を対象にお茶の授業を行いました。

この取組は、お茶に親しむ機会を通じて、子供達のお茶に対する理解促進を図るほか、将来にわたるリーフ茶の消費拡大を図ることを目的に、2年に1度開催しています。

当日は「おいしいお茶をつくる秘密を見つけよう」をテーマに、農政普及課の職員が講師として招かれ、お茶の歴史や効能などに係る学習支援を行ったほか、茶摘み体験や、工場見学などの体験学習も併せて行いました。

午前中いっぱい長時間となりましたが、児童達から質問が多く出るなど、最後まで興味をもってもらえ、笑顔が溢れる楽しい授業となりました。今後も継続した活動を支援するほか、お茶に限らず、食育・地産地消を通じた普及活動を進めることとしています。



100gの煎茶に必要な摘みたてのお茶の量をみんなで考える



お茶摘み体験

～特集～
鹿児島まつり

十島村のボゼ

ボゼには3名の若者達が扮し、ボゼは呼び太鼓の音に導かれて、盆踊りで人々が集まる広場に現れ、ボゼマラの先端につけた赤い泥を擦りつけようと観衆を追い回します。この泥を付けられると悪魔祓いの御利益があるとされています。

騒ぎがしばらく続いたのち、太鼓の音がゆったりとしたリズムに変わると、ボゼは体を揺るようにして踊りはじめ、再度急変の調子で再び暴れ出し、その場を去っていきます。

この行事は、夏・秋の節目に当たって神が訪れ、地域とその人びとの災厄を祓うとともに、幸いをもたらすという行事です。

類似の行事は南西諸島に分布していますが、その中でも悪石島のボゼは、民間信仰や神観念の形態をよく示し、トカラ列島における来訪神行事の典型例であると言われています。



トカラの特産品県外へ！！「NPO法人トカラ・インターフェイス」が「トカラ産物販売推進会議」を開催しました

「NPO法人トカラ・インターフェイス」が販売推進戦略会議を開催し、一般社団法人鹿児島県特産品協会、一般社団法人離島百貨店、(有)ハーバルサンケイ、十島村在住の生産者、十島村役場が参加して、村の特産品の販売推進強化に向けた戦略案の相互検討を行いました。

検討後は、福岡と東京で販売強化を推進する島の特産品 17 品を参加者全員で試食して、重点的に販売する6品を選定しました。具体的には、青パパイヤのグリーンカレー、サラダで食べられる大名たけのこ、リリコイ(=パッションのこと)バターTOKARA, mon de banana(=島バナナのピュレ)、水産加工品などあわせて6品です。

コロナ感染症拡大で交流人口が激減し苦戦する十島村の農林水産業の担い手を支援するため、都市部での販売強化を図るとともに、今後はネットショップのリニューアルにも取り組む予定です。



トカラ会議の様子



トカラ初年度売り込み商品の選抜

若手農業担い手女性組織「ポタジェファム」が「販売促進セミナー」を開催しました

「ポタジェファム」は、会員が生産する農産物と農産加工品のセット販売による農業収益向上を図るため、国の補助事業を活用し、今年度は4回のセミナーを計画しています。

これまでに2回のセミナーを開催し、専門家から販売拡大に向けた重要なポイントを学びました。

今後はワークショップで会員それぞれが作っている商品や農産物を持ち寄り、意見交換や相互評価を行ったり、県内の6次産業化事例について相互検討することとしています。



ポタジェファムセミナー

桜島港（袴腰地区）浮棧橋の試験的運用を開始しました

今年3月に完成した桜島港（袴腰）の浮棧橋は、4月から鹿児島湾内のクルージング等を行う不定期航路事業者に対象を限定して試験的に運用を開始しています。

マリンポートかごしまの浮棧橋や今後整備予定の本港区の浮棧橋とも連携した、新たな需要の喚起や県内外の観光客を取り込んだマイクロツーリズムの促進が期待されます。

1 これまでの桜島浮棧橋の利用実績（8／4現在）

- (1) 運行回数 14回
- (2) 乗客実績数 59名
- (3) 利用目的 錦江湾遊覧、イルカウォッチング、錦江湾周遊クルージング 等



2 今後の予定

令和6年3月までに本港区（鹿児島水族館横）に浮棧橋を設置予定

～特集～
鹿児島島のまつり

日置市の伊作太鼓踊り

日置市吹上町に伝わる民俗芸能で、県の無形民俗文化財に指定されています。

伊作太鼓踊りの由来にはいくつかの説がありますが、一説には、応永13（1406）年、伊作島津氏4代当主の久義が、田布施郷の二階堂氏を降伏させた際に考案された、戦勝の踊りと伝えられています。

毎年、8月28日の南方神社の大祭の日、6地区の保存会が交代で南方神社に奉納し、その後翌日の29日まで吹上の各地で披露されます（令和4年度は8月28日（日）のみの披露）。

